

みんなで 支え合い

地域包括ケアシステム



参加できそうな
集まりはないかな

地域の取り組みを
知ってもらいたい



困っている人を
お手伝いできないかな

皆さんの「何かしたい」という思いが、安心して暮らせるまちづくりの第一歩です。無理なくできることから一緒に考えていきましょう。



地域支え合い推進員

高齢化が進む現在では、地域における「支え合い」という言葉が注目されています。皆さんはこの言葉を聞くとどんなことをイメージしますか？今回は、住民同士の支え合いや地域のつながりを広げていくための「地域支え合い推進員」の取り組みを紹介します。

「地域支え合い推進員」の役割

「支え合い」という言葉には、困っている人に対する荷物運びや買い物代行、隣近所の見守りなど口頃のちよつとした支援から、公民館での会合や井戸端会議のような交流までさまざまなものが含まれます。

少子高齢化により介護人材が不足し、今までのような医療・介護専門職だけでは、高齢者の生活を支えることが難しくなります。これからは専門職だけでなく、地域における「支え合い」も大切にしてから高齢者を支援する地域づくりが必要です。

その推進役として、市では筑紫野市社会福祉協議会に「地域支え合い推進員」(推進員)を配置しています。推進員は、地域に出向き、さまざまな支え合い活動を把握・発信したり、地域に関わる団体・個人と人、地域と地域をつなぐお手伝いをしています。

皆さんの素敵な活動を教えてください！

住民による生活支援ボランティア、見守り訪問、お店の空き時間を利用した憩いの場など；推進員の活動を通してたくさんの支え合い活動があることが分かってきました。同時に「高齢者と子どもが交流できる場を作りたい」「自分ができるボランティアを知りたい」「こんな活動があればいいな」、自分のため、地域のために「何かしたい」「あったらいいな」という声もあります。

作っていきます。

皆さんの地域に推進員が来た時は、ぜひ素敵な人や活動を教えてください。そして、一緒に支え合いの輪を広げていきましょう。

このように、既存の活動やつながりを大切にしつつ、地域に関わるさまざまな人や団体ができる範囲で支え合い、まちづくりが広がっていく姿は、まさに地域包括ケアシステムであり、市でもこのような取り組みが広がるよう努めています。

● 問い合わせ先 高齢者支援課



住民ボランティア「岡田サポート倶楽部」による高齢者宅の草刈り